^{確かな造形力} 表現を磨く。

表現する意欲 感覚を開放する。

メディアの有効利用 美しく伝達する。 Art & Design

芸術文化学部 美術学科



芸術文化学部長中村 譲

本学が開学し美術学科ができて23年が経ちます。時代の流れとともに 美の価値観や表現の内容も多少の変化があり、その時々に相応しいカリ キュラムや指導態勢を整えてきました。現在では作品制作だけにとどまら ず、自身の活動を発信する能力、芸術を通して地域や社会との関わりを 持つことも重要視されています。学生にとっては積極的に周囲の人とつな がり、今までにない新しいことに取り組んだりする必要もあるでしょう。

本来、大学では各々の勉強を通して専門の知識・技術を深めることは 勿論のこと、学生同志が集い、いろいろな価値観や手法を知って理解し、 刺激し合いながら自身を高めていく場であると思います。またその様な環境こそが学生時代に重要なことではないでしょうか。昨今コロナ禍を経験し大学に通うことが困難な学生が増えたとも聞きます。しかし学生の皆さんには、なるべく大学に通い、あるいは街に出て、何か行事やワークショップやその他のことでも積極的に参加していただきたいと思います。その経験は総合的な人間力を養うことになるでしょう。未知の自分の可能性を信じて社会に出て継続して美術に携わって行ける、たくましい人材になってもらえたらと願っています。





学科紹介動画はこちら

選択コース(日本画コース・油画コース・デザインコ-

デッサン基礎実習・彫刻実習・構成実習(平面・立体) 総合基礎実習(日本画・油画・デザイン)

1年次後期にコース選択 2年次にコース確定

	日本画コース	油画コ ー ス	デザインコ ー ス			
2年次	課題制作 フィールドワーク 自由制作 オムニバス授業 スケッチ旅行 ゼミ 動物スケッチ 自主制作 人体デッサン 進級制作展		各領域から課題を出題			
		グラフィックデザイン アドバタイジング アニメーション イラストレーション 映像デザイン 造形デザイン クラフトデザイン				
3年次	課題制作 自由制作 人体デッサン	オムニバス授業 ゼミ 自主制作	専門領域の課題 領域間のコラボレーション課題			
	古美術研究演習					
	自由制作	進級制作	地域プレゼンテーション (展示発表会)			
4年次	課題制作 自由制作 人体デッサン 卒業制作	自主制作 ゼミ 卒業制作	自主研究制作 卒業制作			

入学院

専門領域の制作および研究 (より専門的な制作や研究を行う機関として大学院が設置されています) 美術学科の入学者の受け入れの方針(アドミッション・ポリシー) 教育の理念・目的と求める学生像

美術学科の教育理念は、美術における専門家として持続的に創作活動 に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材を育成することにあり ます。

個々の学生の美に寄せる豊かな感性を尊重しながら、実技教育を通して 専門的な知識・技術を獲得させること、また、学生が相互に切磋琢磨する機 会を通して、芸術文化に関する幅広い視野を身につけさせることを目的とし ます。その上で、作家やデザイナーとして、あるいは美術教員や学芸員等と して、持続的に美術に携わることのできる人材の育成を目指しています。

このような教育理念・目的に基づき、高等学校までの学習を通して培った理解力と思考力、美術の表現力を前提とした上で、美術学科は次のような人を求めています。

- ・豊かな発想や色感を持ち、構成力、描写力などの基礎的な造形力を持つ人
- ・本学で学修を進めるために必要な基本的な知識、理解力を持つ人
- ・自らの問題意識にしたがって考え、客観的な視点を持つ意欲のある人
- ・自らの感覚や思考を、美術表現や言葉によって他者に伝える意欲のある人
- ・主体性を持って学ぶ姿勢を持ち、多様な人々と協働して学ぶ意欲のある人
- ・将来的なビジョンを持ち、自らの創造性を高める意欲のある人

専攻を選択できるコース制

1年次は、基礎実技を重視して基本的な造形能力を養います。全員が共通課題として、デッサン基礎実習、彫刻実習と3つのコース課題(構成実習/日本画・油画・デザイン)を体験します。その後、各自志望コースの課題(総合基礎実習/日本画・油画・デザイン)を選択し、自己の資質と方向性を吟味します。2年次からは3つのコース(日本画・油画・デザイン)に分かれ、1年次で学んだ基礎力を踏まえて、それぞれの分野の知識や技術の修得に力を注ぎます。

美術学科では、美術における専門家として持続的な創作活動に携わり、 地域や社会の文化・芸術に寄与する人材の輩出を目標としています。この ことを踏まえ、所定卒業単位の修得と卒業制作に加え、以下の学修成果を 達成した学生に対して「学士(美術)」を授与します。

- ・美術に関連する基本的な素養を身につけ、専門分野の基礎的な知識や技術を修得し、感性を養いながら、それらを自己表現に積極的に活用する ことができる。
- ・広い視野で物事を捉え、課題を発見し、その解決方法を模索した上で、 表現の可能性を探究することができる。
- ・美術を学んだことにより身につけた表現力や創造性を、継続的な創作 活動を通して社会に発信することができる。

尾道から外部へと発信

美術学科では、尾道という「場」で制作活動を行うことの可能性を最大限に 活かすことを模索しています。

大学のある久山田水源地近くの静謐な環境は、個に集中し制作に打ち込むの に適しています。

また、大学近隣の豊かな自然や尾道の街並みは、多くのインスピレーションを 与えてくれることでしょう。実際に、その豊かな自然環境や風景を活かした制作 や、尾道の街中を実践の場とする展覧会、イベント参加等の活動、産学連携の プロジェクトや市民団体とのコラボレーション等も活発化してきています。

今後、これらの活動が一層充実し、ここでなければ創れない独自の価値を 外部に発信していくことを目標としています。

充実した制作環境

美術学科には、日本画、油画、デザインそれぞれの領域の制作に適したアト リエがあります。学生たちは潤沢なスペースでじっくりと専門の制作に取り組 むことができます。

それ以外に、大人数での実習に適した大空間を持つ石膏室や、各種工房施設 があります (CG、写真、彫刻、金工、木工、塗装、陶芸、版画)。 各工房ではそれ ぞれの素材についての専門的な技術を学ぶことができます。また、学生個々の 自主制作でコースの垣根を越えて工房施設を活用することができます。



施設の様子を Google ストリートビューでご覧になれます



CG実習室

iMac 40台を常設した実習室です。レーザー プリンター、大判プロッター、3Dプリンター、 製本機、レーザーカッターなどを設置。グラ フィックデザインを制作したり、映像編集する ことに特化した充実した設備です。



写真スタジオ

4Kビデオカメラやデジタル一眼カメラ、照明 設備などが揃った撮影スタジオ。デジタルに 対応した機材を導入し、撮影技術を学びます。 制作した作品を撮影することもできるなど、多 様な利用が可能な工房です。



彫刻実習室

2つの教室と屋根付きテラスに加え、広々と した屋外制作スペースがあります。屋内では 彫塑や造形制作を、屋外では石彫などを行い ます。自由素材の研究の場としての利用も 可能です。



塗装実習室

各種スプレー塗装に対応した大型水洗ブー ス、乾燥炉はもとより、漆塗りのための塗部屋、 漆室を新たに備え、塗装環境をさらに充実させ ています。



金工実習室

金工技法の彫金、鍛金、鋳金それぞれの制作を 行う設備が整っています。西日本の美術系大 学では珍しいブロンズ、およびアルミニウム鋳 造のための溶鉱炉を備えています。金属素材を ベースとした造形制作に適した環境を備えた です。 工房環境です。



木工実習室

大型木材加工用の機材が揃っている機械室と、 作業スペースで構成されています。器、家具、 オブジェ、絵画のためのパネルや額作りなど、 木質素材をベースとした多目的な利用が可能



陶芸実習室

陶芸用電気釜2基、電動ろくろ10台を備えてお り、器からオブジェまで、幅広い制作が可能に なっています。



版画実習室

銅版画、木版画、リトグラフ、シルクスクリーンの 4版種すべてに対応可能な充実した工房です。 特に大型銅版画用プレス機は、西日本の美術 系大学でも最大級の機材を設置しています。



日本画コースは、基本的な専門技術を修得させ、現代の表現として展開し、個性豊かに創造し得る力を育てることを目指しています。 在学中は最も多感な時期であると考えます。これからの長い作家活動をしていく上での大切な一助となるべき教育を行います。

日本画実習 I (2年次)

植物、静物、動物、風景、人物等を対象として幅広く課題を設定し、日本画材料の特性を学び、個性を活かしながら表現力を育成 します。自らの絵画観をもとに自由な発想で画面に向かう意識を育てます。また箔や裏打ち技法の特別講習を行い、表現の可能性を 学びます。

日本画実習Ⅱ(3年次)

個々の自由なテーマでの制作に取り組み、個性的な表現世界の発展を目指します。古典作品の模写を課して、色彩や空間に対す る認識を一層深めます。また古美術研究演習では、事前学習を踏まえ京都・奈良を訪れます。

日本画実習Ⅲ(4年次)

今まで培った表現を前提に自由なテーマをより主観的に咀嚼し、研究制作を続け、より高度な創造表現を目指します。また直接作 品に触れることを目的として美術館などを訪れ、美の本質に根ざした表現を模索させ感性を育てます。4年間の研究成果として卒業 制作展を地域社会に向けて発表します。



松井唯 2年次自由制作 麻紙、岩絵具、膠 116.7×116.7cm



〈朝を招く〉 4年次卒業制作 麻紙、岩絵具、膠、箔 181.8×227.3cm



森雅治 2年次動物制作 麻紙、岩絵具、膠 116.7×91cm



白濱小花 3年次人物制作 麻紙、岩絵具、膠 116.7×91cm



武田乃梨子 4年次人物制作 麻紙、岩絵具、膠、箔 116.7×91cm

日本画コース Art & Design



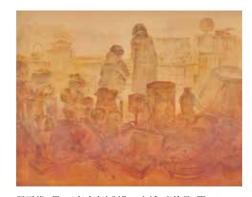
橋田百菜 3年次自由制作 麻紙、岩絵具、膠 116.7×116.7cm



佐藤美咲 3年次自由制作 麻紙、岩絵具、膠 116.7×116.7cm



松下由佳 3年次人物制作 麻紙、岩絵具、膠、箔 116.7×91cm



児玉萌々果 2年次自由制作 麻紙、岩絵具、膠 91×116.7cm



山﨑楓華 2年次静物制作 麻紙、岩絵具、膠 91×72.7cm



兵等千恵 2年次絹本制作 麻紙、岩絵具、膠 65.2×53cm



上野ひろ 3年次自由制作 麻紙、岩絵具、膠 89.4×145.5cm



瀧山千晶 3年次古典模写制作 美濃紙、岩絵具、膠 23×23.5cm



竹村花菜 1年次ユリ制作 麻紙、岩絵具、膠 65×50cm



石川菜摘 1年次剥製静物制作 麻紙、岩絵具、膠 91×72.7cm



和泉優子 3年次自由制作 麻紙、岩絵具、膠 116.7×116.7cm



功刀天音 4年次自由制作 麻紙、岩絵具、膠、箔 162×130.3cm

小林蓮姫 1年次ユリ制作

麻紙、岩絵具、膠 72.8×51.5cm



戎優花 4年次卒業制作自画像 麻紙、岩絵具、膠 65.2×53cm



児玉萌々果 2年次静物制作 麻紙、岩絵具、膠 72.7×91cm



松下由佳 3年次風景制作 麻紙、岩絵具、膠 72.7×91cm



田上結芽 1年次剥製静物制作 麻紙、岩絵具、膠 91×72.7cm



条柚希 2年次絹本制作 麻紙、岩絵具、膠 65.2×53cm



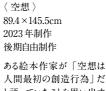
大学院美術研究科日本画専攻2年 朝平 敬香

私は身近な動植物や人物をモチーフにし、日常生活の 中で捉えられる物事を出発点に制作をしています。絵画 は、ときに視覚芸術と呼ばれることがあるように、色や形 など視覚に訴える要素により形作られます。そうした絵画 の特性を踏まえ、色面による構成で、平面的・装飾的な画 面作りを模索してきました。今後は日本画画材の特質や技 法を踏まえ、それらを活かした表現方法を探究しながら、 動植物をメインに情趣ある画面へ展開していきたいです。

また修士課程では、学部以上に制作や美術について深 く探究できる機会に恵まれています。今は、これまでに関 心を寄せたものや好きなものを煮詰めて表現の模索をして いる状態ですが、そうした時間が、制作を続けていく土台 を盤石にするのだと思います。学部3年次には卒業後の進 路について悩みましたが、この2年間の課程が今後の制 作活動の大きな支えになることからも大学院に進学して良 かったと実感しています。



〈こもれび〉 91×116.7cm 2023年制作 後期自由制作 9月頃に宮島でスケッチした鹿 の親子をもとに制作しました。 鹿は夏毛になると、大人にも 鹿子模様がみられます。木漏 れ日の中で、鹿の模様と太陽







〈響鳴〉 170×215cm 2023年制作 (再興第108回院展 初入選) チェロは高校生の時に弾いており、思い入れのある楽器です。聴くものを包み込むよ うな、音楽が持つ余白を自身の絵画空間にも持たせたいと思いながら制作しました。





油画コースは、絵画表現を軸に、各自が創作と生きることの可 能性を主体的に追求していく姿勢を培うことを目標としています。

個々の制作の場を起点に、多様な学びや対話機会を作り出す ことで、自己の興味・関心を模索し、課題を立て、自ら取り組む 姿勢を養うと同時に、制作の場を共有することによって相互刺 激の場を創り出します。

油画実習I(2年次)

個々の学生が自身の資質を発掘し、表現の可能性を見出す および自主制作を並行して行なっていきます。また、同級生や他 学年、教員、ゲストスピーカーとの意見交換を通じ、自身の考え 展示されます。 を自覚的に発展させていく場も作り出します。

油画実習Ⅱ(3年次)

3年次では自身の表現内容を模索すると同時に、個々の表現 にふさわしい形式、描画材料も実験しながら、制作を行っていき ます。後期最後の進級制作ではその試みを大学美術館で展示 します。また、古美術研究は作品鑑賞体験を自身の制作の糧と する機会になります。

油画実習Ⅲ・卒業制作(4年次)

4年次はこれまでの自主制作で見つけた課題を踏まえて、それ 機会として、各担当教員の視座を反映した多彩な実習やゼミ、ぞれのリアリティを存分に追求していく時間となります。その成果 は卒業制作として尾道市立美術館で開催される卒業制作展で



西原なずな 〈Super moratorium 〉 4年次卒業制作 左より 1167×1303mm、1167×910mm、652×530mm、727×606mm、273×220mm キャンバス、油彩



木浦真帆 〈静寂の祈り〉 修了制作 キャンバス、油彩、紙、ベニヤ板、ガラス等 2000×5175mm



片山めい 〈 ちりめんじわの男たち 〉 修了制作 キャンバス、アクリル、油彩、糸 1303×1303mm、1167×803mm、 803×1167mm、727×606mm、910×1167mm



中部安梨 〈 eco-terrorism 〉 4年次卒業制作 キャンバス、油彩、映像 1620×1940mm



田川俊介 〈 a 森の賢人と不可思議な発見、b 正方形宇宙と放出點、c 平な山岳 〉 4年次卒業制作 非晶石膏、テンペラ、油彩 a 957×653mm、b 128×128mm、c 650×906mm



吉岡育夢 〈 し的な 〉 4年次卒業制作 キャンバス、油彩、アクリル 3000×3000mm



森野美里 〈 red scarf 〉 4年次卒業制作 アクリル毛糸 不定形



小川裕美 〈 不安と私 〉 展示風景



岩田千豊 〈 脆夢 〉 3年次自主制作 模造紙、墨、鉛筆 910×1220mm

宮宇地春人 〈14の想像 〉 1年次自主制作 手漉き紙(段ボール再利用) にインクジェットプリント、色鉛筆で描画 各210×297mm 14枚組



大下和 2年次自主制作 紙、アクリル 785×318mm





勝俣佑菜 2年次自主制作 〈 だいだいへんげ 〉 キャンバス、油彩 455×530 mm, 728×515 mm, 530×455 mm



橋本涼凪 2年次自主制作 〈遊び〉 410×318mm キャンバス・油彩・油性ペン・ポスターカラー ・クレヨン・パラフィンワックス・光沢紙・カラー スプレー



松本明里 2年次課題制作(観葉植物) キャンバス、油彩 910×727mm



DU LIN SHUO 1年次課題制作(人物/群像) キャンバス、油彩 455×530mm



芹澤亜子 1年次課題制作(自画像) キャンバス、油彩 530×455mm

東谷花奈美 1年次課題制作(自画像)

キャンバス、油彩 530×455mm



美術学科油画コース3年 ₹ 羽生 なつき

私は、ものの本質を探る行為に関心を持って制作していま す。ものを観察する際に、ものの輪郭の形や質感、同じ空間に ある他のものとどう影響し合っているかということを主に注意深く 見ています。観察を通して見えてきた物の性質が、画面の中で クリアに現れるように、形と構図を熟考して決めています。そのも のとして欠くことができない最も大事な性質を、クリアに目に見え る形で表現したいと思っています。

最近は、大学で仲間や先生方と対話を重ねる中で、鑑賞 者からの見え方をより意識するようになりました。モチーフの正体 が伝わるよりも、鑑賞者の経験や記憶と結びついて様々なもの に見えてくるということを大切にしたいと考えています。モチーフの 抽象度合いを調節するときの、一つの基準として意識したいと 思っています。

今後の制作では、平面作品に限らず多様な技法と素材を 制作の中に取り入れて、表現方法を模索していきたいです。 ここでは仲間や先生方と深い対話を重ねながら、自分の表現 したいことに真っ直ぐ向き合える環境があります。この恵まれた 環境を活かして、今後も制作に励んでいきたいと思います。



〈 観葉植物 〉 1303×970mm 2023 ものとものが同じ空間の中にあることで生まれるリズムと、流れの輪郭のかたち を見る感覚で描きました。



〈金魚〉 410×318mm 2023 名画に触発されて描いた 作品です。ひとつの物の 存在感を大きく描くことで、 その物が持っている、心 に迫ってくる力を表す試み として描きました。

デザインコースでは、各研究室の専門領域を基本としながらも、興味のあることは、領域を越えた指導を受けることが可能なカリキュ ラム編成となっています。これにより幅広い視野によるデザインの視点から表現できる能力を培うことができます。



デザイン実習 I(2年次)

2年次前期は選択課題に取り組み、自分の興味関心がどの分野にあるかを見極める期間とします。2年次後期より専門領域に分 かれて基礎を学びます。

- ・広告やパッケージデザインを軸としたグラフィック表現の実践的研究
- ・イラストレーションの展開、アニメーションによる映像デザインの研究
- ・モーショングラフィック、実写などの映像デザインの研究
- ・各種素材を使った造形表現、空間造形表現などの研究
- ・木工、漆芸(塗装)を主とした器、家具などの自然素材によるクラフトデザインの研究

デザイン実習Ⅱ(3年次)

2年次で学んだ基礎をもとに各領域の課題に取り組み、さらに各領域が連携したコラボレーション課題で視野を広げ表現力を身につけ ます。後期に取り組む地域プレゼンテーション課題では3年次のまとめとして大学美術館にて展示、しまなみ交流館では発表を行います。

デザイン実習Ⅲ・卒業制作(4年次)

デザイン実習Ⅲでは自身で自由なテーマを設定し制作を行います。卒業制作では4年間の集大成として、その成果を尾道市立美 術館にて展示・発表します。



廣中怜 〈 Freshwater Fish Of The World 〉 4年次卒業制作 ポスター



平方優希 〈 尾道しおさい金米糖 〉 3年次地域プレゼンテーション課題







世羅菜花 〈MATOU〉 4年次卒業制作 立体



梅田和見 〈避難 〉 4年次卒業制作 立体



宇都宮怜奈 〈 分身 〉 4年次卒業制作 イラストレーション



林里穂 〈 狐湯バスソルト 〉 3年次地域プレゼンテーション課題





長野風花 〈 インテリアエレメント課題 〉 3年次デザイン実習Ⅱ





山際菜月 〈 うさこい-うさぎの島で恋をする- 〉 4年次卒業制作 映像



村上桃花 〈 ギフト課題 〉 2年次デザイン実習Ⅰ

石井遥 〈 イメージフォルム(鋳造)課題 〉

2年次デザイン実習I



松﨑菜月 〈コミュニケーションロゴ課題〉 3年次デザイン実習Ⅱ



楠朋果 〈 コミュニケーションロゴ立体課題 〉 3年次デザイン実習Ⅱ



竹邉沙彩 〈モノクローム写真課題〉 2年次デザイン実習[



中川和奏 〈 フォルム課題 〉 2年次デザイン実習I



辻江侑奈 〈 ギフト課題 〉 2年次デザイン実習I



松本未希(左)、神野茜(中)、岡本佳奈(右) 〈 ランプシェード課題 〉 1年次構成実習



小畑咲良 〈総合基礎実習 〉 1年次総合基礎実習



菅原実夏 〈 ハンガー課題 〉 1年次構成実習



岡本佳奈 〈 シルエット課題 〉 1年次構成実習



中嶋梨乃 〈 自画像課題 1年次構成実習



美術学科デザインコース3年 北村 春菜

私は幼少期から絵を描くことが好きで、今でも熱心に取り組んで います。私がデザインコースを選択した理由は、幅広いデザインの 分野を知り「好きなこと」をデザインの分野と組み合わせて、ワクワ クさせられるような表現を他者に届けたいと考えたからです。2年次 ではグラフィックデザイン・アドバタイジング領域を選択し、ポスター やギフトデザインの制作など、幅広い分野のデザインに触れること ができました。

制作では行き詰まることが多かったのですが、領域内で定期的 に行われるミーティングがそれを解決してくれました。ミーティングで は同じ領域の人と制作段階の作品共有や意見交換ができ領域 内の先生からもアドバイスをいただけます。様々な意見を参考にする ことで客観的な視点を持つことができ、段階的に課題に取り組む ことができました。

私はこの「客観的に作品を見てどんどんブラッシュアップしていく 段階」が達成感や自身の成長を感じられて非常に好きです。一番 それを感じられたものが「ギフト」をテーマとした課題でした。誰に 向けたどんなデザインかを設定することが非常に難しく、詰め込み すぎた情報の整理に悩みました。しかし、他者の視点を取り入れる ことで自分の目指す表現を明確にでき、客観的な情報整理をする ことができました。この経験から「客観的な視点」を持つことが非 常に重要だと学びました。

3年次では学んだことを活用し、広い視野で色々なことに挑戦した いです。そして他者をワクワクさせる表現を発信していきたいです。



〈ギフト課題 〉 2年次デザイン実習I



〈連動課題〉 2年次デザイン実習Ⅰ





〈出身地ポスター課題〉 2年次デザイン実習I

美術学科教員はキャンパス内で創作・研究を行っています。

教員の研究室は美術学科棟の学生アトリエスペースの、廊下をはさんだ向か い側にあり、学生は多彩な専門領域で活動している教員の創作・研究現場を 日常的に訪れることができます。

また、コース制をとっていることから、多くの創作・研究が共存していますが、 各専門領域の垣根が低く、異なる領域の学生・教員間の対話が頻繁に行われ ているところも本学の美術学科の大きな特徴と言えるでしょう。



教授(日本画コース)

1964年 香川県高松市生まれ

1989年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業

1991年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程日本画専攻修了

1993年 東京藝術大学大学院美術研究科後期博士課程

絵画日本画専攻単位取得退学

1994年 東京藝術大学日本画科非常勤講師 (~2001年)

[公募展]

1994年 再興第79回「院展」初入選/東京都美術館

1995年 第50回「春の院展」初入選/日本橋三越本店

2001年 第56回「春の院展」奨励賞(以後2007,08受賞)

2003年 再興第88回「院展」奨励賞(以後2004受賞)

2006年 再興第91回「院展」日本美術院賞(大観賞)

(以後2008年受賞、同足立美術館賞)

2013年 第68回「春の院展」春の足立美術館賞

[個展、グループ展]

1994年 「有芽の会」展 法務大臣賞/有楽町西武

2001年 「更生保護」(法務省保護局月刊誌)

担当月表紙絵個展/ナカジマアート/銀座

2007年 中村譲日本画展「Favorite scene」 高松天満屋

(以後百貨店開催、2010.2012.2014.2019.2022.2023.2024)

2017年 香川県文化芸術選奨表彰

2022年 小林和作賞

日本美術院同人、香川県文化芸術振興審議委員



〈東平の余韻〉 紙本彩色 180×360cm 2023



准教授(日本画コース)

1997年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業

1999年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程日本画専攻修了

-1999年 第54回「春の院展」初入選

2001年 「有芽の会」全国更生保護婦人連盟会長賞

2002年 「有芽の会」法務大臣賞

再興第87回「院展」初入選 2004年 第59回「春の院展」奨励賞

(以後2016、2018、2020、2021、2024受賞)

2007年 再興第92回「院展」奨励賞

(以後2009、2019、2020、2021、2022、2023受賞)

2009年 再興第94回「院展」 天心記念茨城賞

2018年 第73回「春の院展」春季展賞

日本美術院奨学金

[個展、グループ展]

2004年 個展「レスポワール展」/銀座スルガ台画廊

2009年 個展 EMA作品展—鈴木恵麻作品展—/そごう横浜(2011年)

2013年 個展「更生保護」

(法務省保護局月刊誌)担当月表紙絵個展/ナカジマアート

2021年 個展「鈴木恵麻展」/尾道市立大学美術館

2022年 箱根芦ノ湖成川美術館コレクション展/茨城天心記念五浦美術館

2023年 セレネ美術館開館30年・宇奈月温泉開湯100年記念「日本画の

新星たち展」/セレネ美術館

日本美術院 特待



〈郷愁〉 紙本彩色 166.5×211.4cm 2023



講師(日本画コース)

2005年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科卒業 2007年 尾道市立大学大学院美術研究科修士課程(日本画)修了

2011年 尾道市立大学MOU尾道市立大学美術館 スタッフ

2013年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 助手(~'18年)

[受賞·展覧会歴]

2005年 第7回広島県岡山県大学美術系卒業制作選抜展(ふくやま美術館/広島)

第9回広島県岡山県大学美術系卒業制作選抜展特別賞 (ふくやま美術館/広島)

修了制作「ナツしたく」・修了模写「法隆寺金堂第十一壁画(部分)模写」

第62回春の院展「涼音 すずおと」初入選(日本橋三越/東京・広島ほか巡回) 2008年 現代の中国画と日本画展〈グループ展〉(ふくやま美術館/広島)

HiBi 2008〈グループ展〉

(MOU尾道市立大学美術館/尾道/'10、'12、'14年)

2009年 再興第99回院展「聞こえるよ」初入選 (東京都美術館/東京・広島ほか巡回)

In Focus 展 〈グループ展〉 (MOU 尾道市立大学美術館 / 尾道)

揺籃展〈グループ展〉 (MOU尾道市立大学美術館/尾道/'15、'18年) 2012年

2014年 ツナガルケシキ〈グループ展〉(大三島美術館/愛媛)

2016年 第4回郷さくら美術館桜花賞展(郷さくら美術館/東京)

2017年 再興第102院展「なつのおと」奨励賞 (東京都美術館/東京・広島ほか巡回)

はなの日(個展)(かわうそ画廊/東京) 2018年 第73回春の院展「みえる みられる」 奨励賞

(日本橋三越/東京・広島ほか巡回) 尾道市立大学日本画展〈グループ展〉(小津和紙ギャラリー/東京)

2022年 第77回春の院展「節季」 奨励賞 (日本橋三越/東京・広島ほか巡回)

日本美術院 院友



〈梅雨晴〉 岩絵具、膠、麻紙 160×210cm 2023



教授(油画コース)

1973年 北海道函館市生まれ

1996年 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業

1998年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程油画専攻修了

1999年 東京藝術大学油画科非常勤講師(~2001年)

現在 AIR Onomichi代表、NPO法人尾道空き家再生プロジェクト副代表理事

2000年 「キツネ作戦」/フタバ画廊/東京

2002年 「小野環展」/appel/東京

2005年 「gardens」/ギャラリーそわか/京都 2008年 「gardens 植木鉢の冒険」/ふくやま美術館/福山

2010年 「足下の辺境」/尾道市立大学美術館/尾道

2013年 「ユートピアの迷子石」/ Utopiana / ジュネーブ※

2021年 「Re - edit」/光明寺會舘/尾道

[グループ展]

2003年 ヒロシマアートドキュメント 2003 /旧日本銀行広島支店/広島

2004年 VOCA 展/上野の森美術館/東京

2007年 AIR Onomichi / 尾道山手地区 / 尾道※ (2011年※)

2008年 tina.b プラハ国際現代芸術祭 2008 / プラハ市※

2012年 UTOPIA ~何処にもない場所~/百島/尾道※(2013.14年)

2017年 dr/op Beyond Boundaries /グッドマンアートセンター/シンガポール

2018年 「複数形の世界のはじまりに」/東京都美術館/東京

2019年 ONLY CONNECT OSAKA / クリエイティブセンター大阪/大阪

2021年 第24回岡本太郎現代美術賞展 特別賞/川崎市岡本太郎美術館/川崎

2022年 「いにしによる一断片たちの囁きに耳を一」/瀬戸内海歴史民俗資料館/香川

(※作家三上清仁とのユニット)



准教授(油画コース)

1974年 東京生まれ

1997年 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業

2004年 CHELSEA COLLEGE OF ART AND DESIGN,

ロンドン, MA FINE ART修了

2007-09年 文化庁新進芸術家海外留学制度2年派遣/ロンドン/イギリス

2007年 "Yutaka Inagawa Solo show" / New Art Center /ニューヨーク

2008年 "Nonplace overlay"/ Bodhi Gallery/ロンドン

2009年 "Sensory Cocktails"/ Gallery Zandari/ソウル・韓国 "Crazvtokyo"/ Galerie Sutv. Cove-la-Foret /フランス

2014~15年 "The invasion of Cyberspace"/ Unit 24 Gallery/ロンドン

2015年 OTAK JEPUN ¦ Yutaka Inagawa / Lorong Kekabu / クアラルンプール

2022 年 符と思う eASY mECHANISM / MOU 尾道市立大学美術館 / 尾道

2023年 "Fluxosphere" / UUH OOH / 香港

2023年 "Speak Spindle つむ・くち" (2023) / Comma Space /シンガポール

[グループ展]

2007年 "Trajectories"/ The Agency/ロンドン

2007年 "The 8th SHINSAIMDANG Art Festival"/ Ganqueng Museum/韓国

2008年 "Cosmopolis"/ Pipy Houldsworth Gallery /ロンドン

2017年 Floating Urban Slime / Sublime / アートギャラリーミヤウチ/広島

2018年 I Say Yesterday, You Hear Tomorrow, Visions from Japan / Gallerie delle Prigioni /トレヴィーゾ/イタリア

2019年 ONLY CONNECT OSAKA / クリエイティブセンター大阪/大阪

2019年 Another Pair of Eyes (企画·出品) / Duddell's /香港



〈再編 スタンダード 正徳浜住宅〉、〈再編棚〉 百科事典、接着剤、ガラス、金具 2023



/ MOU 尾道市立大学美術館



インスタレーション・ビュー 符と思う eASY mECHANISM (2022)



准教授(油画コース)

1982年 熊本県生まれ

2007年 尾道市立大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 助手(~'17年)

2017年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 助教(~'18年) 2018年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 講師(~'22年)

[主な展覧会]

2007年 第81回国展/以後毎年

2008年 第82回国展 絵画部奨励賞

尾道からの「3人展」/アートガーデン/岡山

2009年 国展 受賞作家展/井上画廊/東京

2013年 Ga展/ふくやま美術館/福山/以後毎年

2014年 第88回国展 会友賞、準会員推挙

2015年 国展 受賞作家展/銀座アートホール/東京

KKT / ギャラリー向日葵/東京/以後毎年

2017年 個展 橋野仁史絵画展-Fog-/福山天満屋/福山/'19年

2018年 Gg2展/福山天満屋/福山/以後毎年 2019年 再考 人間と自然/広島県立美術館/広島

2022年 meet a new /福山天満屋/福山/' 23年

2021年 中曽智子・橋野仁史2人展―風薫る一/GALLERY森・hako/福山

個展 橋野仁史絵画展-光景-/福山天満屋/福山/



〈Schliere 〉 油彩、キャンバス 194×162cm 2023



講師(油画コース)

1989年 東京都生まれ

2014年 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻 卒業

2016年 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻(油画) 修了

2019年 京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程美術専攻研究領域油画

修了・博士 (美術) 学位取得

2012年 「毛わらと油」美術出版社ビューイングスペース(東京)

2013年 「TWS-Emerging2013: 例えば祖父まで、もしくは私まで。 こんもり出現」

TWS 本郷(東京)

「図形的登場人物と雪娘 シーズン 2」 FINCH ARTS (京都)

2022年 「犬、石、物、語り(上巻)」HARMAS GALLERY (東京)

2023年 「呼水 (図形的登場人物たち)」 Ritsuki Fujisaki Gallery (東京)

「犬石物語 (I still live there)」 FINCH ARTS (京都)

「グループ展]

2010年 「現役美大生の現代美術展-Produced by X 氏」 Kaikai Kiki gallery, Hidari Zingaro (東京)

2016年 「第3回CAF 賞入選作品展」3331 Arts Chivoda (東京)

2021年 「絵画の見かた reprise」 √ K Contemporary (東京)

2021年 「Encounters in Parallel」 ANB Tokyo (東京)

2021年 「猫とマチエール」 MtK Contemporary Art (京都) 2022年 「Kyoto Art for Tomorrow 2022 - 京都府新鋭選抜展-」京都文化博物館(京都)

2022年 「或る絵肌-物語るマチエールー」日本橋三越本店本館6階美術サロン(東京) [コレクション]

山梨学院大学、高橋龍太郎コレクション、KANKURO UESHIMA COLLECTION [ワークショップ]

2019年 練馬区立美術館

「賞ほか」

三菱商事アートゲートプログラム 2013 奨学生、第3回 CAF 賞保坂健二朗賞



〈犬、石、物、語り(上巻1-9)〉 oil and oil bar and acrylic on canvas H1400 x W1400mm 2023



教授(デザインコース)

知文

1960年 広島県広島市生まれ

1984年 東京藝術大学美術学部工芸科卒業

1986年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程鋳金専攻修了

[制作歴、受賞歴]

1987年 第3回現代九州彫刻展 入選(石橋美術館)

1991年 広島パークビル前に野外彫刻設置

1992年 第30回日本現代工芸美術中国会展 広島市長賞受賞 1993年 洞爺村国際彫刻ビエンナーレ 作品買上〈'97年も買上〉

1995年 第34回日本現代工芸美術展 現代工芸大賞受賞

1997年 さかいで Art グランプリ '97 秀作賞受賞 (坂出市民美術館)

1998年 第1回佐野ルネッサンス鋳金展 入選 〈第2回も入選〉

2000年 第40回日本現代工芸美術展 現代工芸本会員40回記念賞受賞

2004年 第43回日本現代工芸美術展 現代工芸本会員賞受賞 2005年 尾道市小中学校芸術祭 グランプリトロフィー制作

2009年 八千代の丘美術館 第8期入館

2010年 東尾道彫刻公園に野外彫刻設置

2012年 第44回日展 特選受賞 2016年 東広島市立美術館 作品収蔵

2020年 桜田知文作品展 -こころのままに-(美術館あーとあい・きさ)

2022年 第9回日展 特選受賞

日展準会員、現代工芸美術家協会評議員



〈翔(かける)〉 アルミニウム・真鍮 H62×W50×D23cm 2023



准教授(デザインコース)

1967年 大阪生まれ

1994年 東京藝術大学美術学部工芸科 卒業

1996年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程漆芸専攻修了

2020年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 准教授 [活動歴]

2005年 日本文化財漆協会 常任理事

2011年 ナチュラルマテリアルプロジェクト 循環型自然素材の開発及び研究

2013年 漆芸を支える道具の調査研究 作品収蔵 東京藝術大学 フィラデルフィア美術館

2012年 東京藝術大学創立125周年記念事業「漆芸 軌跡と未来」

招待出品(東京藝術大学)

ナチュナルマテリアルプロジェクト(六本木ル・ベイン)

器奏天回茶展(うおがし銘茶 築地新店)

日本のいろ展2012(松岡山東慶寺白蓮舎) 2013年 個展 林宏 漆の器展(栃木 アルゴノート)

japanin vari [Natural material projects] (フィンランド ヘルシンキ)

2014年 壱木呂の会展(新宿 伊勢丹)

漆芸二人展(瑞玉ギャラリー 東京)

2015年 草木と漆の器展(代官山 無垢里)

日本のいろ 展 (松岡山東慶寺ギャラリー)

2016年 草木と漆の器展(代官山 無垢里)

2017年 壱木呂の会展(松岡山東慶寺ギャラリー)

2018年 陶と漆の器展(代官山無垢里)

2019年 感覚のかたち展 (MOU 尾道市立大学美術館)

陶と漆の器展(日本橋三越)

2022年 はじまりのかたち展(MOU尾道市立大学美術館)



〈 耳付漆皿 〉 W320 × D285 × H15 ブラックチェリー、漆 2019

Havashi hiroshi urushi design https://hayashihiroshi.net

尾道市立大学 デザインコース クラフトデザイン https://onomichi-craftdesign.myportfolio.com



准教授(デザインコース)

2005年 愛知県立芸術大学 美術学部 デザイン工芸科 卒業

株式会社 GK グラフィックス勤務 (~2008)

2011年 東邦高等学校 美術科 非常勤講師 (~ 2012)

2012年 大垣女子短期大学 デザイン美術学科 講師(~2017)

[活動歴]

2005年~2008年

(デザイン制作会社勤務中の実務)

果汁飲料 PETボトル パッケージデザイン

缶コーヒー パッケージデザイン

紅茶ギフト パッケージデザイン

化粧品 パッケージデザイン 文具パッケージデザイン 他

2009年~

「skin sweets」 パッケージデザイン 展示会「二人ノ図鑑展」(2014,表参道)

展示会「感覚のかたち」(2019、デザイン教員展)

緑茶商品パッケージデザイン他

グラフィックデザイナーとしてデザイン業務に携わりつつ、

真鍮による立体造形表現も思案している







〈 市之瀬の里 ブランディングデザイン 〉 茶袋 2021



〈Shimanami Water リデザイン〉



准教授(デザインコース)

1987年 宮崎県生まれ

2011年 武蔵野美術大学造形学部映像学科卒業

2014年 武蔵野美術大学大学院造形研究科

デザイン専攻映像コース退学

2014~15年 武蔵野美術大学造形学部映像学科 非常勤講師 [活動歴]

2014年 「Media Ambition Tokyo 2014」

六本木ヒルズ 52F 東京シティービュー

2015年 「New Creators Competition 2015」 静岡クリエイター支援センター CCC

2016年 「2016 CHANGWON ASIA ART FESTIVAL」 韓国·昌原市

2019年 「続々 三澤 遥」ギンザ・グラフィック・ギャラリー (映像編集) 「松島オープンスタジオ」 岡山県倉敷市 松島分校美術館

(公開滞在制作)

「まにわ映像フェスティバル 2019 勝山スクリーン・フィールド」

岡山県真庭市

「感覚のかたち」デザイン教員展 尾道市立大学美術館

2022年 漆 田代明樹男・映像 黒田教裕「物質と記憶」のトレモロ

三原市芸術文化センターポポロ



〈 光凪 — Quiet Shine 〉 映像 20 分ループ UHD30p 2023



講師(デザインコース)

西原 美彩

1991年 広島県広島市生まれ

2014年 広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科卒業

2016年 広島市立大学大学院芸術学研究科造形計画研究修了

広島放送株式会社勤務

2018年 広島市立大学芸術学部 映像メディア造形研究室 非常勤助教

[活動歴]

2014年 短編アニメーション「男と青虫」

第2回新県美展(広島県立美術館) 優秀賞

2015年 短編アニメーション「二十億光年のくしゃみ」

ICAF2015 上映

2016年 短編アニメーション「そぞろ」

ICAF2016 上映

2022年 短編アニメーション「鬼、布と塩」

第9回新千歳空港国際アニメーション映画祭 北洋銀行賞受賞

第31回CGアニメコンテスト 入賞 第24回DigiCon6JAPAN 奨励賞

日本アニメーション協会入会

2023年 幻想の神楽 西原美彩展 -鬼、布と塩- アニメーションとその周辺

第18回吉祥寺アニメーション映画祭 ジブリ美術館賞

広島文化新人賞 受賞



〈鬼、布と塩〉 アニメーション 11分 2022





教授(日本美術史・博物館学)

市川彰

1971年 愛知県生まれ

1995年 京都大学文学部美学美術史学専攻卒業

2001年 京都大学大学院文学研究科博士後期課程(美学美術史学専攻)単位取得退学

2000~03年 萬野美術館学芸員

2004~07年 京都文化博物館総務課主事

2007~12年 京都文化博物館学芸課学芸員

[論文等]

1997年 絵描きの玉手箱 伊藤若冲の鶏

『茶道雑誌』第61巻第1号 河原書店

1999年 若冲画に示されたもの - 「動植綵絵」以前の三件の鶴を主題とする着色表現をめぐって -

『研究紀要』第20号、京都大学文学部美学美術史学研究室

2007年 若冲画に示されたもの2 -《初期作品》「雪梅雄鶏図」をめぐって-

京都文化博物館紀要『朱雀』第19集

2014年 名所図会に記された京都の「名宝」(一)

尾道市立大学芸術文化学部 紀要 第13号

[展覧会]

2008年 永樂即全『源氏物語五十四帖』と十七代永樂善五郎展

京都文化博物館企画展

2008年 『読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界~浮世絵から源氏意匠まで~』展

京都文化博物館特別展



准教授(西洋美術史・美学)

94. 重美

北海道旭川市出身

2006年 京都大学文学部人文学科卒業

2009 年 京都大学大学院文学研究科修士課程修了·博士後期課程進学

2010~2012年 パリ・ソルボンヌ大学美術史考古学研究所招待研究員

2013年 京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学

京都大学博士(文学)

[研究歴]

専門はフランス近代美術史で、画家ドラクロワやオリエンタリズムについて研究しています。

- ・『ウジェーヌ・ドラクロワの物語画と文学』京都大学大学院文学研究科課程博士学位論文、2016年
- ・「ドラクロワによる二点の《ジャウールとハッサンの闘い》 一戦闘イメージの起源と北アフリカ旅行の意義をめぐる考察―」 『日仏美術学会会報』(34)、2015年、3-23頁
- ・「ドラクロワの「日記」における絵画と文学の位置付け―主題、表現形態、制作過程の三つの観点から―」『藝術研究』(28)2015年7月、31-45頁
- ・「ドラクロワの「モロッコ旅行記」試訳」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第16号、2017年、69-86頁
- ・「ドラクロワ「プッサン論 I、II」(1853年)試訳」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第21号、2022年、67-80頁
- ・「19世紀中葉のパリで描かれた同時代の恋愛イメージークールベ作《田園の恋人》とワルツの図像」

伊藤公雄・杉本淑彦編『ヴィジュアル・カルチャーの中の親密圏』京大出版会、刊行予定

四国大学助教

デザイン史Ⅰ、Ⅱ

京都工芸繊維大学 助教

広島市現代美術館 主任学芸員

木工演習、実習技術指導員(木工)

デザイン学特講(大学院)

日本画材料技法演習(大学院)

日本美術院同人、女子美術大学 教授

株式会社 GK デザイン総研広島 代表取締役

真野 洋介 東京工業大学大学院社会理工学研究科

金工演習(助手)

诰形作家

絵画総合演習

情報機能論

木工演習(助手)

塗装法演習

デザイン実習I、 デザイン総合演習(大学院)

文化財保存学概論

文化財修復技術者

デザイン実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、卒業制作

建築環境論、空間造形論、図法及び製図

一級建築士、風組・渡邉設計室主宰

グラフィックデザイナー

空間造形論

美術家

製本家

山田 祐子

由記

編集とデザイン

フォントデザイナー

フォントワークス株式会社



助手(日本画コース)

1999年 広島県生まれ

2021年 2020年度美術学科卒業・修了制作展 大学買い上げ

第10回美術新人賞デビュー2022 入選 2022年 第20回アートギャラリーホーム 入選

第77回「春の院展」 初入選

再興第107回「院展」 初入選

「尾道市立大学日本画選抜展 ―明日の会―」

(福山天満屋/広島)['23]

「小さな生き物たち」(みたらいギャラリー/広島)

2023年 個展「村松航汰 日本画展」(東広島芸術文化ホールくらら/広島)

尾道市立大学大学院美術研究科修士課程(日本画)修了 個展「村松航汰 日本画展」(ギャラリー杉/秋田)

「第31回チャリティー・アート展」(ギャラリー杉/秋田) 「冬の風景展」(鈴画廊/東京)

2024年 「気更来会」(岡山天満屋/岡山)

日本美術院 研究会員



〈暗夜なれども〉 紙本彩色 170×215cm 2023



助手(油画コース)

1997年 岡山県生まれ

2019年 ONLY CONNECT 企画補助/クリエイティブセンター大阪/大阪

2023年 尾道市立大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了

[グループ展]

2017年 「MYO」/かし</岡山市

2021年 「キリトル-社会的摩擦から生じる〇〇-」 / Gallery Cafe ULTRA /尾道市

「初期微動」/おのみち歴史博物館/尾道市

2024年 「花くらべ」/ Gallery SPACE 甦謳る/福山市

「LUFF /ラフ」/ Offline 集会所 Space / 尾道市



修了制作展 展示風景 平面、インスタレーション 2023



助手(デザインコース)

小西

1997年 香川県生まれ

2019年 2018年度美術学科卒業・修了制作展 大学買い上げ

2020年 令和元年度 小林和作奨励賞 受賞

2020·ZERO展 0号展 入選

「CROSS OVER Vol.25」(Yao Alternative Space/台湾·台中)

広島銀行尾道支店にて作品展示/尾道市

「Vigor 2021-GALLERY ART POINT推薦作家美大選抜展」

(GALLERY ART POINT/東京)

2021年 奥野ビルギャラリーズアート展 入選

尾道市立大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了

尾道市役所にて作品展示/尾道市

「しまなみ海道・秋の音楽休暇村2021」にて舞台背景の絵画制作/尾道市

2022年 「キリトル - 社会的摩擦から生じる〇〇 -」(Gallery Cafe ULTRA/

尾道市)

2024年 「尾道市立大学美術学科助手展 花くらべ」

(ギャラリースペース甦謳る/福山市)



〈星が煌めく夜に 〉 キャンバスに油彩 75×75mm 2023

赤木	範陸	テンペラ 画技法演習 横浜国立大学 教授	坂梨	好香	版画制作演習(助手) 美術家
秋山	隆	彫刻 木彫家	佐々オ	成美	絵画総合演習 アーティスト
足立原	恵理子	比較芸術論 早稲田大学 非常勤講師	大悟法	法淳一	編集とデザイン 株式会社ごぼうデザイン事務所 代表
荒木	泰恵	古美術研究演習 東京藝術大学 古美術研究施設 助教	高橋早	紀子	東洋美術史 I 愛知学院大学 准教授
石多末	卡知行	デザイン総合演習 (大学院) 一般財団法人 プロジェクション マッピング協会理事	武雄	文子	版画制作演習 アーティスト
今井	良枝	美術解剖学 周南市美術博物館 学芸員	田代	昭夫	塗装法演習 漆芸家
今氏	亮二	情報機能論 有限会社ホットタイプ工房 代表取締役	田中	健一	芸術論特講 I (大学院) 京都大学 准教授
太田	啓介	デザイン学特講 (大学院) (株)オリエンタルコンサルタンツ 技師	田部	健次	金工演習、デザイン実習 I (鍛金) 金工作家
大野	直樹	図法及び製図(助手) アーティスト	苫名	悠	東洋美術史Ⅱ、古美術研究演習 佛教大学 講師
加藤	芳夫	情報機能論 元サントリー食品インターナショナル (株) シニアクリエイティブディレクター	玉木	明	情報機能論 日本郵便株式会社 切手デザイナー
亀岡	知子	デザイン学特講 (大学院) 株式会社りそなホールディングス 弁護士	月岡	裕二	日本画実習 I (箔押し、砂子、切金技法) 東京藝術大学 非常勤講師、作家
神邊	篤史	人間工学概論 名古屋経済大学 准教授	中曽	智子	デザイン実習 I (陶芸技法) 陶芸家
きりとり)めでる	絵画総合演習 美術評論家	西川道	理子	写真(映像)演習(助手) デザイナー
天王寺	谷千裕	芸術論特講Ⅱ (大学院) 京都大学 非常勤講師	野田	尚之	写真(映像)演習、情報機能論、 デザイン実習 I シネマトグラファー
佐古	百美	情報機能論 絵本作家 イラストレーター	深谷	訓子	芸術文化論 京都市立芸術大学 准教授
白木	彰	デザイン論 グラフィックデザイナー 愛知県立芸術大学 名誉教授	福井	一尊	金工演習 島根県立大学人間文化学部 准教授
菅原	智子	壁画技法演習 美術家	福田	栄一	日本画実習 I (裏打ち)、日本画研究 B II 福田装錦堂代表取締役

美術学科では、卒業・修了制作展を開催しています。 学部4年間、大学院2年間の集大成となる展覧会です。

学生時代の集大成としての卒業制作はとても重要なものですが、卒業制作はアトリエで制作して終わりではありません。

美術学科では、毎年、学部4年間、大学院2年間の制作・研究の成果を発表する機会として尾道市立美術館と尾道市立大学美術館 で卒業修了制作展を開催しています。学生たちは展覧会の計画から広報活動、図録制作、展覧会運営、終了後の次世代への引き継 ぎという一連の活動をカリキュラムの一環として経験することになります。例えば、毎年自分たちでカタログを制作し、関係方面 に配布すると同時に、展覧会を訪れる方々に販売しています。このような展覧会の成り立ちを実際に経験することが、卒業後の活 動の糧となることに期待しています。



日本画コース卒業・修了制作展優秀作品 山口 咲笑 〈 煌びやかな温度 〉 4年次卒業制作 麻紙、岩絵具、膠 227.3×181.8cm



油画コース卒業・修了制作展優秀作品 前田 翼/餅花 〈ironiks 〉 修了制作 キャンバスに油絵の具、アクリル絵の具、ペン、鉛筆、ポリ塩化ビニールなど









デザインコース卒業・修了制作展優秀作品 田中 美帆 〈SIRASE〉 4年次卒業制作 ガラスボトル/パッケージ/リーフレット/ポスター ガラス、紙など

美術学科は今年度で23年目を迎え、多くの卒業生たちが専門業界で活躍しています。 そんな卒業生3名から近況をレポートしてもらいました。

卒業生はどのような活動をしているのでしょう。学部卒業後大学院に進学し、さらに専門分野での制作を重ね、作家を志向する人 がコンスタントにいます。

絵画系(日本画、油画)の卒業生の中には創作活動を継続するためにアルバイトをしながら生活している卒業生も毎年一定数います が、近年増加しているのが、中学、高等学校の美術の非常勤講師です。中には複数の学校を掛け持ちで勤務している卒業生もいます。

デザイン系では、専門のスキルを活かして、広告代理店やメーカー、デザイン制作会社、映像制作会社、放送局、ゲーム制作会社 などへの就職の他、イラストレーターやアニメーターとして制作を続けている卒業生もいます。



2021年 日本画コース卒業

2021年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科(日本画)卒業

2021年 尾道市立大学大学院美術研究科(日本画)中退

宮崎県立佐土原高等学校 常勤講師

【展覧会・受賞歴】

2021年 「中武竜也展」(三軒家アパートメント/尾道市)

2021年 「作品展」(apanda /尾道市)

2022年「3seconds」(gallery root4 / 宮崎)

2023年 第3回宮崎総合美術展 入選

大学卒業後は大学院に進学しましたが、地元宮崎県の高校の先生からの依頼をきっかけに半年で大 学院を中退し、現在は宮崎県の高校に勤務しています。これまで中退したことを「もったいない」と言われた こともありましたが、私自身はこの決断に一度も後悔したことがありません。むしろ自分が必要とされる場所で働 くことができて良かったと思っています。学生時代は尾道の人にとてもお世話になり、個展をする場所を貸して いただいたり仕事の依頼をいただいたりもして、今思えばとても貴重な経験をさせていただいたなと思います。

卒業をしてから3年が経ち学生時代ほど制作できる時間と場所はありませんが、学生時代以上に多くのこ とを考えるようになり自分の作品に自信が持てるようになりました。今年は初めて再興院展に挑戦しようと思っ ています。これまで、作家として活動したり院展に入選したりする人を羨ましいと思うこともありましたが、自分の 描きたい絵をずっと追い求めて細く長く続けていくのもまた自分らしい日本画との向き合い方なのかもしれないと 最近は思うようになりました。

学生の皆さんには卒業後どんな進路であっても自分の決断に自信を持って日本画を続けてほしいなと思 います。



〈道草〉 麻紙、岩絵具、膠 91×116.7cm 2022



145.5 × 89.4cm 2024



2020年 油画コース卒業

2020年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 油画コース卒業 2020年 アパレルEC運営会社にWEBデザイナーとして入社 2022年 広告制作会社にイラストレーター・デザイナーとして入社



株式会社アッカインターナショナル「ALIS」 パンフレット表紙イラスト



東映アニメーション株式会社 新卒採用サイト デザイン・イラスト



皆さまにはぜひ楽しんで探索してほしいです。

THE RAMUNE LOVERS ノベルティ デザイン・イラスト



THE RAMUNE LOVERS POP UPショップ 内装デザイン・イラスト



2020年 デザインコース卒業

2020年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 デザインコース卒業 2020年 株式会社 GK グラフィックスにデザイナーとして入社



大分県 DX 推進戦略 イラストレーション

私は大学卒業後、株式会社 GK グラフィックスにデザイナーとして入社しました。 パッケージデザイン を主軸に、イラストレーション、ブランディング、UIなど様々な仕事に携わっています。自分のデザインした ものが実際に多くの人の目にふれる仕事なので、緊張感を持ちつつもやりがいを感じながら楽しく仕事 に取り組んでいます。

私は油画コースを卒業し、アパレル ECを運営する会社の WEB デザイナーとして1年半ほど勤めた 後、広告制作会社へ転職しました。現在は社内でイラストレーター兼デザイナーの役割を持ち、作家

性と商業性を兼ね備えたイラストレーターとして独立するため、日々奮闘中。イラスト制作をメインにさまざ まなデザイン、またアートディレクションに近い仕事にも携わっています。大学時代、制作に向き合い続け たエネルギーや、興味の赴くままになんでも描けた時間、そして先生方の自由な考えに触れられたこと、

"作品をつくる時間"はさまざまな要素から構成されています。どの要素をどう花開かせるか、学生の

すべてが今仕事としている誰かのためのクリエイティブに活かされています。

大学時代はグラフィックデザインをメインに学んでいました。地域活性化企画や卒業制作など様々な 課題で得た、グラフィックを作り込む力や本質を見つけようとする姿勢は、今の仕事に活きていると思っ ています。仕事は充実していながらも、深く研究したり新たなことを勉強したりする時間は学生時代ほど 取れていないのが現状です。皆さんには、今だけの時間を大切にしながらいろいろなことにチャレンジし て欲しいです。



素材がおいしいさつまいも/素材がおいしい栗 カルビー株式会社



Lipton ジャスミンミルクティー 森永乳業株式会社